

これからの 観光の話を しよう！

—丹波市観光協会
次の5年に向けて—

事業者様や地域づくり関係の方はもちろん、観光に関心をお持ちの方から
そうでもないけどちょっと参加してみたいなと思う方まで
ぜひご参加ください！

開催日時・会場

ご都合のよい日時・場所へお越しください

- 10/15 水 19:30~21:00 氷上住民センター
- 10/21 火 19:30~21:00 春日住民センター
- 10/23 木 19:30~21:00 柏原住民センター

プログラム

19:30~ ご挨拶 丹波市観光協会 会長 足立 環

19:40~ 「丹波市観光協会、次の5年に向けて」 丹波市観光協会 理事兼事務局長 小橋 昭彦

20:20~ 参加者意見交換会

ご参加者自身の事業紹介や丹波市観光の切り口、観光協会に期待することなど
自由にご意見伺います。

21:00 閉会

お申し込み

右のQRコードからお申し込みください。
当日参加も可能です。お気軽にご参加ください！



お問い合わせ

丹波市観光協会 TEL 0795-88-5810
honbu@tambacity-kankou.jp

一般社団法人 丹波市観光協会



観光協会の未来を、みなさんと共に。

ーフォーラム「これからの観光の話をしよう」開催にあたってー

一般社団法人丹波市観光協会では、現在「第4次丹波市観光協会振興計画」の策定を行っています。令和8年度からの5年間で、丹波市の観光の未来と、観光協会が果たす役割を記します。新型コロナウイルス感染症の流行、生成AIの登場、進む人口減少等、大きな環境変化の中です。関係団体を含めた委員会で検討しているところですが、観光協会として広くご意見を伺いたく、今回のフォーラムを開催いたします。

開催にあたっての思いを、会長の足立環と理事兼事務局長の小橋昭彦が語り合いました。



【会長（以下「会」）】 観光協会としてこのような開かれた場を持つのは珍しいことで、多くの意見をいただけることを楽しみにしています。

【事務局長（以下「事」）】 観光や交流に携わっていらっしゃる事業者や地域団体の方はもちろん、多くの方の交流の場にもなれば嬉しいですね。

【会】 観光協会が果たすべき役割として、今回「プレイス・ブランディング」という考え方を柱にさせていただく予定です。「丹波市に行きたい」という気持ちを持っていただく取り組みに力を注ぎたい。

【事】 有名なのがJRによる「そうだ、京都行こう」キャンペーンですね。「京都に来て」と地域側の視点から営業するのではなく、顧客側の視点で「京都に行こう」という気持ちを持っていただく。丹波市には魅力的な地域資源が多くあり、お客様に「行きたい」と感じていただく工夫の余地が大きいです。

【会】 そこに観光協会が果たせる役割があります。丹波市は観光産業を基幹産業にすることを目指していますが、現実問題として、観光で儲けている事業者は少ない。観光協会が皆さんをつなぎ、市外の方々が「行きたい」と感じて行動していただく仕組みづくりをしなくてはなりません。

「また訪れたいまち」を創造

【会】 一方で観光協会の理念である「また訪れたいまち」は継続します。

【事】 また訪れたい、ということは、一度訪ねていただいた上で、「また来たい」と思っていただく必要がある。そのためには地域の方々の協力をいただき、景観保全やおもてなし、さらにはサプライズをお届けするなどの努力が欠かせません。

【会】 その支援も、観光協会に求められるところです。行政が観光施設の充実や看板や観光トイレの整備などインフラを整える役割とすれば、観光協会は「行きたい」と思っていただくためのブランディング、そして観光客の方が満足される体験をしていただくための支援を行っていくことになります。

つなぐことが力になる

【事】 近年は、SNSや動画など「伝えたい」という観点で観光資源や観光体験を評価される傾向があります。会員の方々、地域の方々と力を合わせて、「丹波市ならではの」をお届けする工夫が必要です。

【会】 まさに、現在約400名いらっしゃる会員様をさらに広げ、多くの魅力やアイデアを支援することで、丹波市の観光が変わった、観光産業が根付いたと感じていただけるようにする、そのための次の5年と考えています。



対談する足立会長（左）と小橋事務局長（右）